

町長への手紙・ご意見箱

芦屋町では、「まちづくりは町民全員が協働してつくるもの」と考え、町政への提案や意見などをいただく「町長への手紙」と「ご意見箱」があります。今回は、いただいた町長への手紙・ご意見箱の中から抜粋して紹介します。

▶問い合わせ 広報情報係 (☎223-3569)



図書館のパソコンを使用できるようにしてほしい

中央公民館（図書館）のパソコンを使用できるようにお願いします。ネットで調べることができないので困っています。

(匿名)

対応

7月1日から使用できるようになりました

芦屋町図書館では新型コロナウイルス感染症拡大防止の観点からパソコンなどの利用制限を設けていました。7月1日からパソコンなどの利用制限緩和を行いました。館内の案内掲示でも周知しています。

(生涯学習課)



プラスチックごみの分別方法が分かりにくいです

最近間違っでごみを出している人が多くなったように感じます。特にプラスチックごみの分別方法が分かりにくいので広報あしやなどで周知していただけないでしょうか。

(50歳代)

対応

定期的な広報紙での周知を行っています

プラスチック製容器梱包は、間違った認識で分別されている場合が多いので定期的な広報紙への掲載や自治区回覧板での周知を行います。

(環境住宅課)

※なお、次ページにプラスチックごみの分別方法を掲載しています。

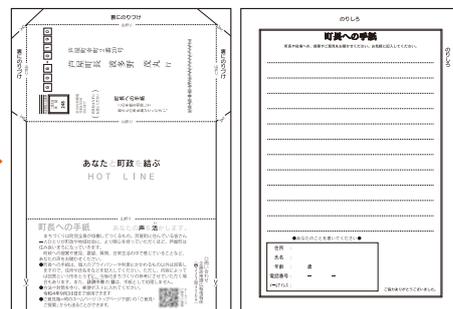
●町長への手紙やご意見箱は、町民の皆さんの声を町政に反映させるためのものです。まちづくりの提案や意見、日常生活の中で感じていることをお寄せください。

●町長への手紙やご意見箱は、必ず町長が目をとおし、個人のプライバシーや利害にかかわるもの以外は、差出人へ返事を送ります。できるだけ、名前と住所などを記入してください。なお、ひぼうちゅうしょう たぐい誹謗中傷の類は受け付けません。

▶町長への手紙（用紙）の設置場所
役場2階企画政策課、町民会館、中央公民館、山鹿公民館、芦屋東公民館

▶ご意見箱
芦屋町のホームページにある「ご意見・ご提案」から送ることができます。

今号に折り込んでいます
町長への手紙（水色）



ホームページの「ご意見・ご提案」も活用してっちゃ!



ペットボトル、プラスチック製品は「燃えるごみ」で出しましょう！



燃えるごみ



プラスチック製容器包装

◆ペットボトルの分別間違いが多発しています

ペットボトルは「燃えるごみ」です。施設や役場に設置している「拠点回収ボックス」で出すこともできます。

※ただし、ラベルとキャップは、「プラスチック製容器包装」で出してください。

【バケツや密封容器（タッパ）なども「燃えるごみ」へ】

◆次のごみも必ず「燃えるごみ」で出してください

・洗面器、バケツ ・食品などを入れる密封容器 ・弁当などに付属するスプーン、フォーク、ストロー ・プラスチック製のハンガー



・プラスチック製の文具類



※これらはプラスチック製であっても「燃えるごみ」です。

ごみは収集日当日の午前7時から8時までに出してください。
ネットがある所は、ごみをネットの中にきちんと入れてください。



プラごみを減らそう！

【未来のために プラごみ削減】

子どもたち、また、その次の世代の環境を守るために、プラスチックごみ（以下、プラごみ）をどのように減らすことができるのか、考えてみませんか。例えば、マイバッグやリユース容器を利用するだけでも少しずつ減らしていくことができます。



☑ こんなことがエコ

- マイバッグを持参し、不要なレジ袋をもらわない
- ペットボトルではなく、マイボトルを持って出かける
- プラスチック製ストローを使わない
- 詰め替え商品など、ごみが少なくなるものを選ぶ

▷問い合わせ 環境・公園係 (☎ 2 2 3 - 3 5 3 8)

【選ぼう！プラスチック代替品】

2050年には海洋中のプラごみの量が海洋中の魚の量を超えと言われ、問題となっています。プラスチック代替品を選んで使うことで、プラごみを削減でき、環境負荷を減らすことができます。私たちの美しい地球を守るために積極的に代替品を選びましょう。

☑ プラスチック代替品とは

石油由来プラスチックに代わる、環境にやさしい製品の総称です。

- 紙、パルプモールド（段ボールや新聞の古紙を主原料としたもの）など
- 再生プラスチック
- バイオマスプラスチック（植物などの再生可能な有機資源を原料として作られたプラスチック素材）

